

タキシフォリンサプリメント

Akash Ganga

アカーシャガンガ

エビデンスがあります。



販売価格

6,480円(税込)
180粒入り



Akash Ganga の主成分

アカーシャガンガ

シベリアのカラマツから生まれたサプリメント



■ タキシフォリン

シベリアのカラマツ木部から抽出された天然フラボノイドの一種です。タキシフォリンは通常の食品にはほとんど含まれない貴重な栄養成分です。長年に渡る研究が続から様々な効果が期待されています。

抗酸化作用



抗糖化作用



毛細血管の保護

.....
血流改善

糖尿病予防

認知症
予防

心疾患予防

\\ **新聞・科学雑誌** に掲載! /

未来の認知症治療薬!?

■ 日本経済新聞

アルツハイマー
抑える物質判明

京大など、マウス実験で

アルツハイマー病の原因となる老廃物の脳内蓄積を抑え、認知機能を回復

復させる物質をマウスの実験で明らかにしたと、国立循環器病研究センター（大阪府吹田市）や京都大などのチームが4日付の英専門誌電子版に発表した。新たな治療薬となる可能性があり、2017年度中に治験を始め、25年ごろをめどに臨床応用を目指す。

アルツハイマー病はアミロイドベータという老廃物タンパク質が脳に蓄積し、神経細胞を死滅させるのが原因とされる。チームは、植物から抽出される「タキシフォリン」にアミロイドベータの凝集を抑制する作用があることに注目。

アルツハイマー病のマウスにタキシフォリンを投与したところ、脳内のアミロイドベータの蓄積量は、投与しないマウスに比べて4分の1程度に減少した。

2017年4月5日

未来の認知症治療薬!?

■ 朝日新聞

ポリフェノール摂取で
アルツハイマー予防?

植物に含まれる成分ポリフェノールの一種に、アルツハイマー病にかかわる異常なたんぱく質の蓄積や炎症を抑える効果があることが、国立循環器病研究センターなどのマウスの実験でわかった。米科学アカデミー紀要に発表した。

アルツハイマー病は「アミロイドβ」というたんぱく質が神経細胞の数が半分以下に抑えられる。

症前から患者の脳内にはたまる。研究チームは脳にアミロイドβがたまるマウスに、発症する前から13カ月間、1日200ミクロกรัมの「タキシフォリン」をえさに混ぜて与えた。

通常のえきを与えた同タイプのマウスと比べると、脳内のアミロイドβ量や、炎症を起こす細胞の数が半分以下に抑えられた。

マウス実験

た。認知機能も、健康なマウスと同程度だった。タキシフォリンは、アミロイドβをつくる細胞を活性化させる酵素の働きを抑えているとみられるという。

タキシフォリンはアザミなどの植物に含まれる。今回は動物実験で、毎日の大量投与が条件。サプリメントが市販されているが、人での効果は確認されていない。京都医療センターの浅原哲子・内分泌代謝高血圧研究部長は「人での効果や適量を調べていきたい」と話している。

（野中良祐）

2019年5月22日

■ 京都新聞

認知症発症原因
タンパク質抑制

予防可能性物質 作用の仕方解明

京都医療センター

認知症の予防につながる可能性のある物質「タキシフォリン」の作用の仕方をマウスで解明したと、京都医療センター（京都市伏見区）の研究チームが発表した。このグループが発表した論文は、認知症の原因タンパク質の一種「アミロイドβ(Aβ)」の働きを抑制する効果があることがわかった。炎症や神経細胞の死も低下した。

浅原部長は「マウス実験で、Aβが神経細胞で作られるのを抑制する効果があった。炎症や神経細胞の死も低下した。今後研究していきたい」と話した。

（広瀬一隆）

の産生を抑える働きがあったといわれ、治療につながる可能性がある。米科学アカデミー紀要に30日、掲載する。

厚生労働省によると、2025年には認知症高齢者が約700万人となるといわれるが、有効な予防法や治療法は少ない。タキシフォリンが認知症予防の可能性を持つとする先行研究はあり、同病院の浅原哲子部長らは今回、その作用する仕組みの解明を試みた。

グループは先年、タキシフォリンを投与したマウスに、脳内のアミロイドβの量を測定した。その結果、神経細胞の周辺にある免疫細胞「マクロファージ」からのタンパク質「APOE」の産生が抑

2019年4月30日

— シベリアのカラマツにおける歴史 —



■ シベリア先住民の食経験

シベリア先住民は、カラマツの樹皮を剥ぎ落とした木部をナイフで刻み、馬乳や魚粉を加えて煮出したカラマツエキスを「サスナー」というスープにして飲んでいました。シベリアの厳しい大自然の中で遅く成長するカラマツを、人々は「神の樹」と崇め、神木からのパワーを健康増進に役立てていたのです。

■ 「神の樹」カラマツ

シベリアのカラマツはロシアの広大な針葉樹林「タイガ」に群生しています。夏は30度以上、冬はマイナス60度以下（気温差約100度）の厳しい大自然の中でも遅く育ち、現地では「神の樹」と呼ばれています。

■ カラマツの生命力

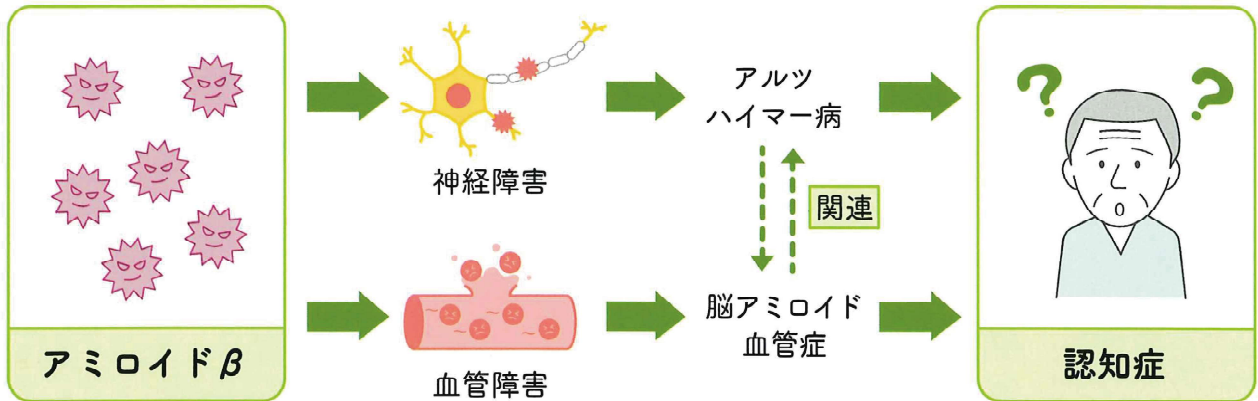
カラマツは、非常に腐食に強いので、ヴェネツィアの水上都市や、サンクトペテルブルグを水中で支える「杭(くい)」として使用されています。また、ロシアのアバカン市歴史博物館には、2500年以上経っているにも関わらず、極めて保存状態の良いカラマツの丸太が展示されています。この生命力は、過酷な環境の中で生き抜くために、カラマツ自身が作り出した何らかの成分によるものではないかと考えられています。



世界が注目!!

■ 1. 認知症(アルツハイマー病)の原因物質とは

●アミロイドβと認知症

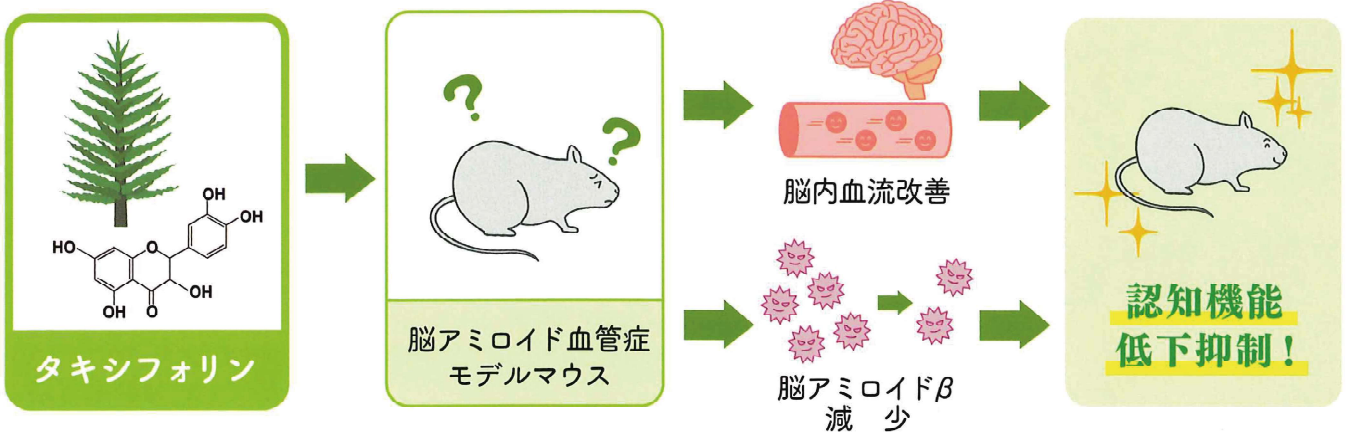


■ 2. 脳アミロイド血管症モデルマウスへのタキシフォリンの効果

1 脳の血流量の改善

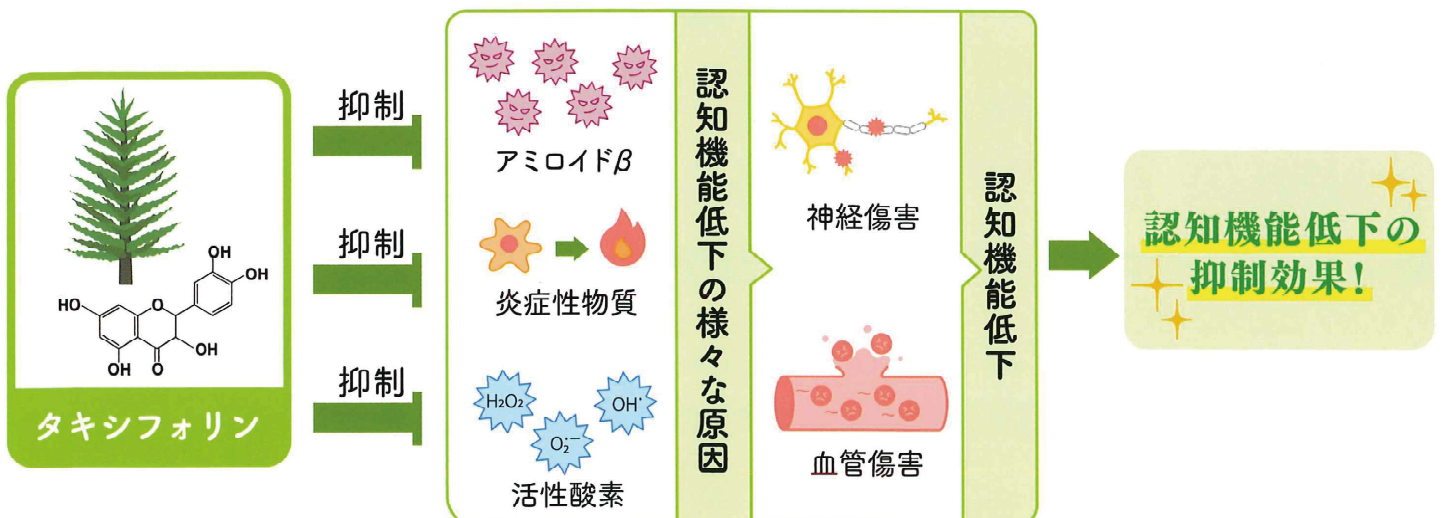
2 Aβ蓄積量の減少

3 認知機能低下の抑制



■ 3. タキシフォリンの多面的作用

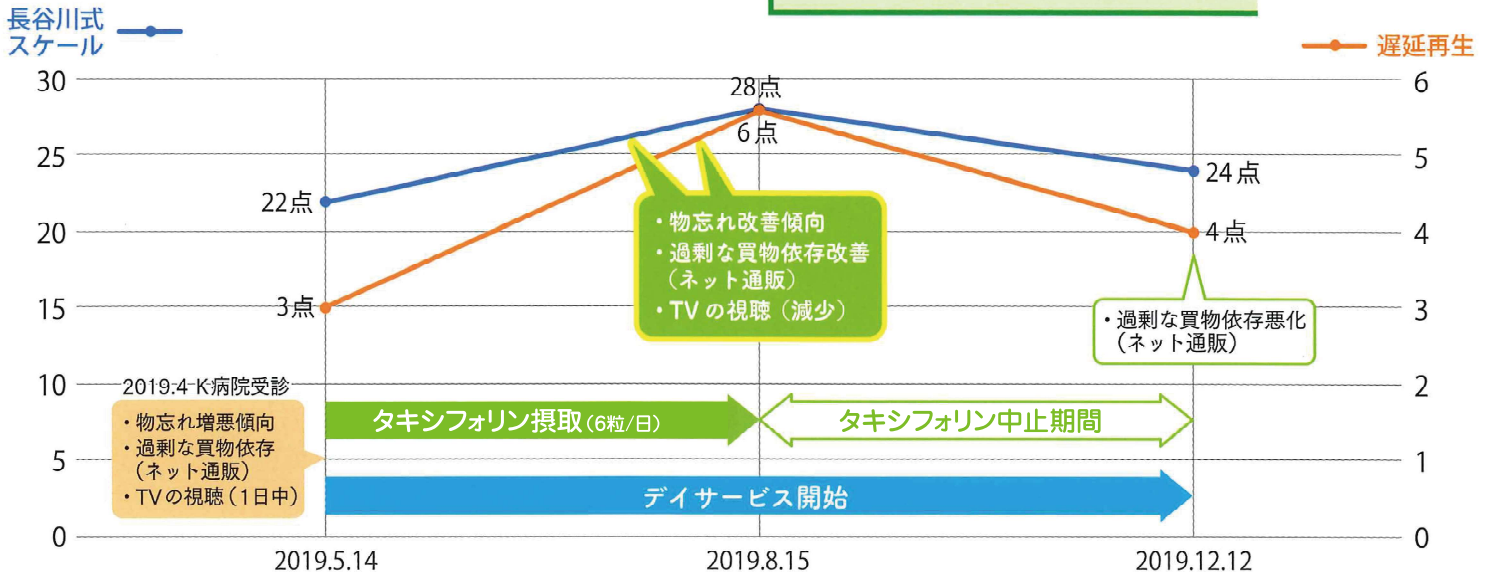
神経や血管を傷つけるアミロイドβや炎症性物質、活性酸素などの産生を抑制することで、脳を保護し、認知機能低下を防ぐ



認知症の改善症例

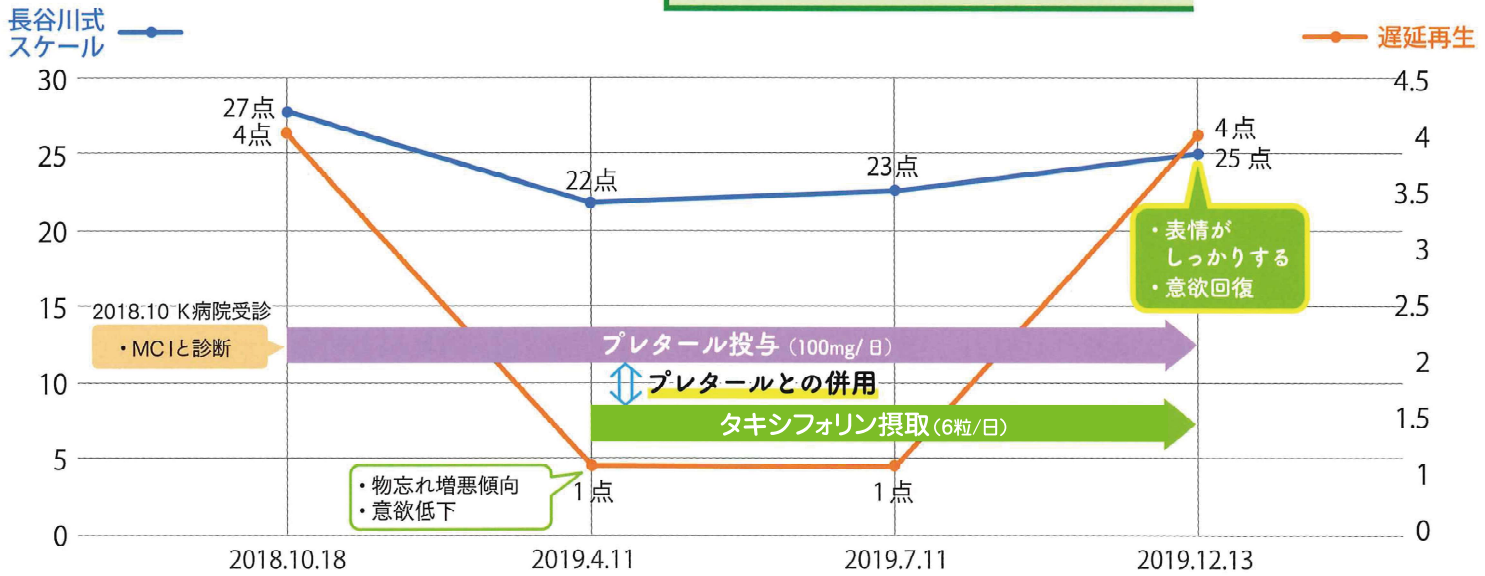
症例 1：86 歳女性 - レビー小体型認知症 (DLB)

徴候：2016 年 A 病院神経内科受診
・物忘れ ・レビー小体型認知症と診断



症例 2：72 歳女性 - 軽度認知障害 (MCI)

徴候：2018 年 2 月 B 病院入院
・出血性胃腸炎で入院 ・物忘れ増悪傾向



症例 3：86 歳男性 - 進行性核上性麻痺 (PSP)

徴候：2014 年 10 月
・右方向への体幹傾斜 ・下肢のこわばり ・液体でむせる

